

開 催 概 要

1. 会議名 第7回四国中央市空家等対策協議会
2. 開催日時 令和2年1月14日（火）午前10時00分～午前11時58分
3. 開催会場 四国中央市庁舎市民交流棟2階会議室
4. 出席者 (会長) 篠原実
(委員) 合田英昭、石川勉、江口猛、河上公則、蝶野公治、尾藤淳一、三浦裕章、横内康正、横田圭三、清水一雅、片上靖、早田亮、石津千代子
(欠席委員：一柳栄一)
(オブザーバー)
国土交通省松山河川国道事務所
西条国道維持出張所長 石川英治
愛媛県東予地方局建築指導課
(四国中央土木事務所駐在) 担当係長 森 元木
(事務局) 今村昭造
宮崎修、白川英明、松岡千歳、佐藤誠
5. 傍聴者 なし
6. 会議次第
 - 1 開会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 委員委嘱（新任のみ）
 - 4 委員紹介（新任のみ）
 - 5 報告
 - (1) 空家法第14条に基づく処置について
 - (2) 法定外指導について
 - (3) 老朽危険空家除却補助金の交付について
 - (4) 四国中央市の空家等対策のための金融支援に係る連携協力協定事業実施状況
 - (5) 四国中央市空家等対策啓発資料の発行
 - 6 協議
 - (1) 個別事案について（非公開）
 - (2) 四国中央市空家等対策計画の実施について
 - 2-1 悪影響の程度と切迫性に応じた空家法第14条の処置の限度について
 - 2-2 空家等対策推進政策の総合的展開について
 - (3) その他
 - 7 その他
 - 8 閉会

===== 議 事 概 要 =====

1 開 会

2 会長あいさつ

3 委員委嘱状交付

会長より新任委員へ委嘱状を交付する。

4 委員紹介

新任委員から自己紹介がある。

5 報告

- (1) 前回会議記録について
- (2) 法定外指導について
- (3) 老朽危険空家除却補助金の交付について
- (4) 四国中央市の空家等対策のための金融支援に係る連携協力協定事業実施状況
- (5) 四国中央市空家等対策啓発資料の発行
書面のとおり報告がある。

6 協議

議長が、協議に先立ち、協議題「(3)その他」の提案がないことを確認、協議題は(1)及び(2)とする旨を宣した。併せて、協議題(1)については、個人情報保護の視点から非公開協議とする旨を宣した。

(1) 個別事案について〔非公開協議〕

【協議成果】

原案通り異議なく了承された。

(2) 四国中央市空家等対策計画の実施について

【原案説明】

2-1 悪影響の程度と切迫性に応じた空家法第14条の処置の限度について
空家法第14条の施行にあたり、比例原則を逸脱することのないように「悪影響の程度と切迫性」に応じた処置の限度を示すものである。ご承認のうちは事務の方針としたいと考えている。

【質疑】

(委員) せつかつならば、悪影響の程度と切迫性の段階を文章表現に留めるのではなく、さらに具体的な指標を示すことはできないか？

(担当) ご承知のとおり定量化は難しく指標を示すことも容易ではない。しかし、このように悪影響の程度と切迫性に応じた段階があり、その段階に応じた措置を示すことで、比例原則を逸脱することのないように努めたいと考える。

【協議成果】

原案通り異議なく了承された。

【原案説明】

2-2 空家等対策推進施策の総合的展開について

当市の空き家等対策は、県下初の代執行をはじめ特定空家等対策を軸として進めてきた。このような働きは、市民の耳目を集め、啓発という点でも効果があったと自覚している。しかし、空家等対策の一方の翼である「空家の増加を抑制する政策」や「空家法第14条でカバーできない部分の充実」を推進することが重要であると考えている。

【質疑】

(委員) まちなかの空き家は、接道要件が満たされないことや駐車場のスペースがないことから、どんどん増えている。一方、周縁部では農地転用などにより住宅建設が進んでいる。このままでは、まちなかには人が居なくなる。人口減少で税収が減少するなかで、郊外に新たなインフラ投資をするのではなく、まちなかが廃墟になることを防ぎ、既存のインフラを活用することが大切である。そのような支援制度や補助制度の整備が必要だと思う。

(担当) 支援という点では、とくに接道不良に焦点を合わせる必要を感じている。この問題は個人で解決できる問題ではないことはもちろん、その効果は個人に留まるものではないと考えている。

(委員) 地域で協議会を立ち上げて、この地域は推進地に指定することで促進される可能性はあると思う。

(担当) 実施にあたっては、地域指定と地域住民の合意形成が必要であると考えられる。

(委員) 取り組みを進めるための指針などをしっかりさせることが大事だと思う。

(会長) まちの将来を考えて、指針づくりなど、取り組みを進めたい。

【協議成果】

支援体制の整備の検討を進める。

7 その他

なし。

8 閉会

会長から謝辞を述べた。